

平成 30 年度東北がんネットワーク化学療法専門委員会

活動報告

1) 平成 30 年度化学療法専門委員会事業費支出

(支出先 東北臨床腫瘍研究会)

- ・症例検討システム／プロトコール申請審査システム運営管理費

@ 1 ヶ月 18,360 円×12 ヶ月=220,320 円

- ・東北がんネット/東北次世代がんプロ/T-CORE 共催市民公開講座 共催費

一式 80,000 円

合計 300,320 円

2) がん化学療法標準プロトコール

① 標準プロトコールの更新

東北臨床腫瘍研究会内に、医師・薬剤師・看護師で構成されるワーキンググループを発足させるため、その人選等を進めている。

3) 共催市民公開講座・講演会の開催

①市民公開講座「新しい時代を迎えるがん医療」への共催

NPO 法人東北臨床腫瘍研究会、東北がんネットワーク、東北次世代がんプロ養成推進プランの共催。テーマとしては、がん治療は免疫チェックポイント阻害薬を含めた分子標的薬の進歩により治療成績が向上し、さらにはがんゲノム医療の展開により個別化医療の時代になりつつある。しかし、一部に根拠のない治療が蔓延しており、正しい情報、医療機関、医師の選択がますます重要となってきた。まず、正しい知識と理解を持ってもらうために基本的なポイントから、新しいステージにある治療の在り方まで分かり易く解説していくものとした。幸い天候にも恵まれ多くの来場者を迎え、盛況の市民公開講座となった。参加者は 176 名の来場があった。

②T-CORE カレッジ 2019 への後援

2019 年 3 月 2 日 (土) に NPO 法人東北臨床腫瘍研究会主催の T-CORE カレッジ 2019 を後援した。

4) 化学療法の曝露対策アンケートの実施

東北大学病院化学療法センターにおいて、現在アンケート企画を取りまとめ中で、

新年度にも実施予定である。

添付資料

- ・ 2018年10月27日開催市民公開講座チラシ
- ・ 2019年3月2日開催T-COREカレッジ2019チラシ

以上 活動報告